



清水西地区社会福祉協議会 清水西ほがらかサロン



オカリナ演奏で癒されました

清水西地区デイホームでは、オカリナ演奏グループ「コスモス」の演奏を聴いたり、一緒に歌って癒しのひと時を過ごしました。

昭和の歌のほかに、朝ドラの「365日の紙飛行機」をみんなと一緒に歌い、オカリナの体験もさせていただきました。
演奏された曲の中で、みなさんが関心があったのが、「年をとるってどんなこと」という曲です。この曲は、芹沢春江さんという98歳の女性が年賀状に書いた詩が各地で共感を呼び、広がっているそうです。その歌詞の一部に、
「年はとるとるみんなとる、誰でも同じ年をとる、
どうせとるなら元気よく、楽しく年をとりますよう」
というフレーズがあり、みなさんも共感され、これからもデイホームで歌いたいと思います。

清水西地区専任職員 清水 弘美

本郷地区社会福祉協議会



芸達者な本郷の皆さんと合同デイホーム

本郷地区デイホームでは、3月に合同デイホームを開催しています。各会場で出席カードを作成し、休まず参加された方には皆勤賞として、粗品とともにこの合同デイホームで表彰するようになり、参加者の励みになっています。

また本郷地区には地区社会福祉協議会松並久太夫会長のスコップ三味線をはじめ、芸達者な方が多く、今年の合同デイホームでは参加者の方に日舞や吟舞を披露していただきました。

そして最後は、この3月で任期終了となる保健推進委員の方達にも替え歌を歌っていただき、アットホームなデイホームとなりました。

本郷地区専任職員 上田 順子